

36 地域コミュニティ醸成支援【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。			
将来像に向けた方向性			
地域の伝統的、文化的活動が継承される必要がある。			
事業概要	内容	町会や連合町会は、防犯・防災、環境美化、高齢者や子どもの見守り、レクリエーションなど、身近な暮らしに関わる活動とともに住民相互の交流や災害時の助け合いなど、良好な地域社会の維持・形成に重要な役割を担う地域コミュニティの中核であり、区はこれまで様々な支援を行ってきました。一方で、ライフスタイルや価値観が多様化する中、町会加入率の低下や、町会活動への負担感に伴う担い手不足、役員の高齢化が課題となっており、地域のつながりの希薄化や組織の持続性が懸念されています。 こうした状況を踏まえ、令和7年度は、町会関係者への聞き取りを行うなど、現状の課題を整理し、近隣・先進自治体の事例を調査します。 調査・分析結果を基に、地域の特性や特徴に合わせた支援プログラムを作成し、各町会のニーズに応じたサポートを提供するほか、地域コミュニティ醸成と祭礼文化の継承に関する調査研究に取り組みます。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	26,209,000円	23,301,673円	88.9%
事業実績	○令和7年度実績 (1) コミュニティ醸成支援事業 コミュニティ活動を行う団体間の連携や協働をテーマとした交流会等（計5回・89名参加）のほか、コミュニティ活動の魅力発信や参加促進に向けた町会関係者、活動団体等による意見交換（計5回・25名参加）、交流イベントとして「ちよだコミュニティラボライブ！」（76名参加）を実施しました。 (2) 町会アンケート等の実施・分析及び支援プログラムの構築 町会アンケートの実施・分析とヒアリング、先進事例の調査を踏まえ、「町会支援プログラム」を構築し、3団体の支援を開始しました。 (3) 祭礼文化の調査研究 本区の祭礼が有する文化的価値、コミュニティ的価値の分析を通じて、地域コミュニティにおける祭礼の役割を確認しました。また、その成果をシンポジウムや報告書により取りまとめ、発信しました。		
令和9年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題 令和8年度の取組状況 区は、コミュニティ活動を行う多様な団体の関係構築や連携推進の支援を行うとともに、地域コミュニティの中核を担う町会や連合町会の持続可能性を高めるため、運営支援を行いつつ、若年・ミドル世代、とりわけ単身者の地域参画促進に取り組んでいます。 令和8年度は、コミュニティ活動団体への支援手法の見直しを行うとともに、町会支援プログラムの対象として20団体を目途に運営改善や加入促進に向けた伴走支援を実施します。あわせて、若年・ミドル世代の単身者向け参画促進施策と、江戸文化の普及啓発施策を展開し、幅広い区民の地域への理解と愛着を育みます。 令和9年度は、令和8年度の見直しを踏まえた新たな支援手法により、地域活動を始めたい区民の後押しや仲間づくりを進めるとともに、引き続き町会支援や祭礼文化継承支援に関する取組みを行いながら、若年・ミドル世代の継続的な地域参画を促し、地域コミュニティの活性化を図ります。		
所管課	地域振興部 コミュニティ総務課	決算参考書	192頁
		R7予算の概要	135頁

37 コミュニティ活動事業助成【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。

将来像に向けた方向性

地域の伝統的、文化的活動が継承される必要がある。

事業概要	内容	区は、コミュニティの活性化を目的に、町会や商店街等の地域の団体が行う、区民・昼間区民等誰もが参加できるイベント等のコミュニティ活動に対し、事業費の一部を助成金として交付しています。 夏期に実施するイベントについては、熱中症等の防止や暑さ対策が課題となっています。 令和7年度は、納涼大会や子どもまつり等の夏期のイベントにおいて、熱中症対策備品の購入・レンタル代などの酷暑対策に要する費用を助成（助成率：2／3、上限額：3万5千円）し、安全に実施できるよう支援します。			
事業費	予算現額		決算額		執行率
	16,400,000円		12,576,424円		76.7%
事業実績	○令和7年度実績				
	■助成実績				
		令和7年度	令和6年度	令和5年度	
	助成事業数 （うち酷暑対策事業数）	58事業 （36事業）	62事業	54事業	
	延べ助成団体数	100団体	95団体	84団体	
	助成額	12,576,424円	11,868,783円	10,365,735円	
令和9年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題 令和8年度の取組状況 令和9年度予算への対応				
	助成金の交付団体数・交付額はいずれも増加し、新たに区民となった方や事業所の参画、子どもたちの行事参加などを通じて、地域コミュニティの活性化に寄与しました。酷暑対策費用助成も、対象期間中の多くの事業で活用され、熱中症対策の定着に効果が見られました。一方で、物価・光熱費の高騰により団体側の事業コスト上昇への対応が課題となっています。 令和8年度は、助成限度額を引き上げ（1団体での実施20万円／2団体以上での実施40万円／3団体以上での実施60万円）、コミュニティ活動支援を拡充します。あわせて、地域団体等が実施する祭礼文化関連の啓発イベントを新たに助成対象に加え、祭礼文化の継承を後押しします。 令和9年度も、令和8年度に引き続き、地域コミュニティの活性化と担い手の裾野拡大を図ります。				
所管課 地域振興部 コミュニティ総務課		決算参考書	192頁	R7予算の概要	135頁

38 ジェンダー平等推進行動計画改定に向けた調査検討【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等																			
基本構想の実現に向けて（（2）多様性を尊重し認めあう社会づくり）																			
将来像に向けた方向性																			
ジェンダー平等社会、人権尊重社会を実現する必要がある。 （関連する主な分野別計画：第6次千代田区ジェンダー平等推進行動計画）																			
事業概要	内容	区は、令和4年3月に「第6次千代田区ジェンダー平等推進行動計画」を策定し、「性別による不平等がなく、だれもが自分で生き方を選ぶことができ、その選択が認められて参画できる社会の実現」を基本理念に掲げ、ジェンダー平等に関する理解の促進や、配偶者暴力防止、LGBTQへの支援、女性の活躍推進など、様々な施策に取り組んできました。 令和7年度は、第6次計画が令和8年度で終了するため、区民・事業所を対象に、これまでの取り組みの成果や意識の変化等を調査・分析したうえで、男女平等推進区民会議において次期計画の検討を行います。																	
事業費	予算現額		決算額	執行率															
	8,490,000円		7,496,500円	88.3%															
事業実績	○令和7年度実績 （1）千代田区ジェンダーに関する意識・実態調査の実施 区民のジェンダー平等や男女共同参画についての考え方及び区内事業所における育児・介護休業や女性の活躍推進に向けた取組状況等を把握し、第7次計画の策定に向けた基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施しました。																		
	<table><tr><td>調査対象</td><td>配布数</td><td>回答数</td><td>回答率</td></tr><tr><td>区民 （満18歳以上の区民）</td><td>1,500件</td><td>385件</td><td>25.7%</td></tr><tr><td>青少年 （満13歳～17歳の区民）</td><td>1,500件</td><td>335件</td><td>22.3%</td></tr><tr><td>区内事業所</td><td>1,100件</td><td>197件</td><td>17.9%</td></tr></table> （2）男女平等推進区民会議の開催（令和7年6月18日、11月17日、令和8年1月28日、3月9日） 第6次計画の進捗状況、千代田区ジェンダーに関する意識・実態調査の結果報告等、第7次計画策定に向けた検討を行いました。				調査対象	配布数	回答数	回答率	区民 （満18歳以上の区民）	1,500件	385件	25.7%	青少年 （満13歳～17歳の区民）	1,500件	335件	22.3%	区内事業所	1,100件	197件
調査対象	配布数	回答数	回答率																
区民 （満18歳以上の区民）	1,500件	385件	25.7%																
青少年 （満13歳～17歳の区民）	1,500件	335件	22.3%																
区内事業所	1,100件	197件	17.9%																
令和9年度予算への対応	第7次計画策定にあたっては、ジェンダー平等の意識づくりや女性の活躍推進、DV・ハラスメント等の相談・支援等の関連施策を庁内横断的に検討する必要があります。 令和8年度は、国や都の動向や令和7年度の調査結果及び区民会議からの意見を踏まえ、第7次計画を策定します。 令和9年度は、第7次計画で定める目標の達成に向け、ジェンダー平等施策を推進します。																		
所管課 地域振興部 国際平和・男女平等人権課		決算参考書	194頁	R7予算の概要 136頁															

39 戦後80年平和事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（2）多様性を尊重し認めあう社会づくり）

将来像に向けた方向性

国際交流・協力や平和活動、多文化共生施策を推進する必要がある。

事業概要	内容	区は、平成7年3月に「国際平和都市千代田区宣言」を行い、平和意識の醸成のための啓発活動や事業に取り組んできました。 戦争経験者が高齢化し、戦争の記憶を語り継げる人々が年々減少している中で、若い世代に伝え、戦争体験を風化させることなく平和への意識を高めていくことは、喫緊の課題です。 令和7年度は、戦後80年の機を捉え、平和に関する動画の制作や戦跡マップの改訂、企画展などを実施し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを考える機会を提供していきます。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	2,772,000円	1,992,750円		71.9%
事業実績	○令和7年度実績 (1) 戦後80年平和事業動画の制作 戦争体験者及び平和使節団員へのインタビュー等を収録し、区ホームページ・春の平和イベント展示会場で公開しました。 (2) 平和（戦跡）マップの改訂 (3) 平和イベントの実施			
		夏の平和イベント		春の平和イベント
	開催日	令和7年8月9日～8月17日 (シールラリーは9月14日まで)		令和8年3月3日～3月15日
	来場者数	477名		529名
	実施内容	平和展示会、展示解説会、シールラリー		平和展示会、映画上映会「この世界の片隅に」
	実績を踏まえた評価・課題 令和8年度の取組状況 令和9年度予算への対応			
本事業は、戦後80年平和事業のため、令和7年度で完了しました。 今後も幅広い世代の方々の平和意識の醸成につながるよう、啓発活動や事業に取り組んでいきます。				

40 個人宅向け防犯機器等購入緊急補助【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

将来像に向けた方向性

安全で快適なまちづくりを進める必要がある。

事業概要	内容	近年、凶悪な侵入窃盗事件等が全国で発生しており、区民の防犯意識が高まっています。 令和7年度は、侵入窃盗被害を防止し、区民の安全・安心確保の観点から、個人宅への防犯カメラ・カメラ付きインターホンなどの防犯機器購入・設置に係る補助（補助率10/10、補助限度額：4万円）を行います。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	10,000,000円		9,196,000円	92.0%
事業実績	○令和7年度実績 269世帯への補助を実施しました。			
	■補助実績			
		対象品目	品目数	補助額
	1	カメラ付きインターホン	159件	5,336,400円
	2	防犯カメラ	81件	2,461,500円
	3	人感センサー（センサーカメラ・センサーライト）	35件	545,300円
	4	補助錠	26件	531,800円
	5	防犯フィルム	14件	269,000円
	6	その他（面格子・センサーアラーム・ダミーカメラ）	7件	52,000円
	※1件の申請で複数品目の申請があった場合を含めます。			
令和8年度実績 令和9年度予算への対応	令和8年度は、令和7年度に引き続き、個人宅における防犯機器購入・設置に係る補助を行い、安全・安心の確保を促進します。			
	本事業は、時限事業であるため、令和8年度で完了となります。			

所管課 地域振興部 安全生活課

決算参考書

194頁

R7予算の概要

-

41 物価高騰対策区民の暮らし支援事業【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

将来像に向けた方向性

全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。

事業概要	内容	令和7年度も令和6年度に引き続き国の補正予算が成立したことを受け、追加で措置された「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、プリペイド型ギフトカードを配付します。 (1) 第1弾（令和6年度繰越分） 【対象者】令和7年3月17日現在において区の住民基本台帳に記録されている者等 【内容】区民1人につきプリペイド型ギフトカード5,000円分を配付 (2) 第2弾（令和7年度補正予算分） 【対象者】令和8年1月1日現在において区の住民基本台帳に記録されている者等 【内容】区民1人につきプリペイド型ギフトカード10,000円分を配付	

事業費	予算現額	決算額	執行率
	1,262,238,000円	407,799,760円	32.3%

事業実績	○令和7年度実績		
		第1弾 (令和6年度繰越分)	第2弾 (令和7年度補正予算分)
	予算額	490,720千円	771,518千円
	事業実績	令和7年7月30日 発送 令和7年8月29日 再発送 令和7年12月19日 コールセンター終了 令和8年3月31日 事業終了	区民周知用の広報物作成等
	配付数	66,372件	—
	決算額	407,233,260円	566,500円
	※第2弾事業は、令和8年度にかけて事業を実施することに伴い、執行率が低くなりました（予算の一部を令和8年度に繰り越しました）。		

令和8年度実績を踏まえた評価・課題 令和9年度予算への対応	令和7年度に実施した物価高騰対策（第1弾事業）では、コールセンターやセキュリティ体制を新たに構築し、ギフトカードを円滑に配付しました。一方で、制度内容や配付方法に関する問い合わせ・ご意見が多く寄せられ、周知方法の改善が課題となりました。 令和8年度は、物価高騰対策（第2弾事業）として、4月から段階的にギフトカードを配付します。第1弾で構築した運営・セキュリティ体制を引き続き活用し、効率的な実施と経費の圧縮を図ります。あわせて、令和7年度に寄せられた意見を踏まえ、同封チラシやポスター等に必要情報を明記するなど、広報内容を見直し、わかりやすさの向上に努めます。 なお、本事業は時限事業であるため、令和8年度で完了します。		

所管課	地域振興部 コミュニティ総務課 (コミュニティ政策担当課長)	決算参考書	196頁	R7予算の概要	—
-----	-----------------------------------	-------	------	---------	---

42 内幸町ホール改修整備関連事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等				
伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。				
将来像に向けた方向性				
歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。 (関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）)				
事業概要	内容	文化芸術拠点施設の一つである内幸町ホールは、築後28年が経過し、設備の老朽化が進んでいることから、令和6年度は大規模改修工事に向けた基本・実施設設計を行いました。 令和7年度は、令和8年度の供用開始をめざし、施設の改修工事に着手します。 なお、内幸町ホールの閉館中は、区民団体等が継続して文化活動を行えるよう、民間ホール等を使用する際の使用料を補助（上限額：1団体につき24万円）します。あわせて、民間ホールとの連携協力を進め、区民団体等が民間ホールを利用しやすい環境を整えていきます。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 工事費	601,841,000円	535,100,000円	88.9%
	(2) 工事監理委託料	19,545,000円	13,865,000円	70.9%
	(3) 事務費	4,215,000円	2,414,165円	57.3%
	(4) 内幸町ホール代替施設利用補助	2,380,000円	240,000円	10.1%
事業実績	○令和7年度実績 (1) 改修工事 ホール内の備品の整理を行ったのち、令和7年8月から改修工事に着手しました。なお、入札不調による工期延長に伴い、供用開始を令和8年度から令和9年度に変更しました。 (2) 内幸町ホール代替施設利用補助 補助実績：1件 ※事務費については、改修工事に係る廃棄物の収集運搬及び処分業務の契約差金により、内幸町ホール代替施設利用補助については、10団体の申請を想定していましたが、1団体となったため、執行率が低くなりました。			
令和9年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	改修にあたっては、ホール利用者・周辺地域等に十分配慮しながら工事を進めていく必要があります。 令和8年度は、令和7年度に引き続き、令和9年度の竣工をめざして改修工事を実施するとともに、再開に向けた準備を進めます。			
所管課 地域振興部 文化振興課		決算参考書	196頁	R7予算の概要 130頁

43 融資事務費【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方向性

企業の持続的な成長によって地域を活性化する必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画)

事業概要	内容	区は、中小企業者の経営安定化を支援するため、中小企業診断士による経営相談を行っています。 令和7年度は、Web予約やオンライン相談を可能とするため、新たなシステムを導入します。予約時に相談内容に応じた相談員の選択もでき、利用者のさらなる利便性の向上を図ります。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	17,657,000円		12,296,936円	69.6%
事業実績	○令和7年度実績 経営相談受付システムを導入しました。 (1) 相談予約のWeb受付開始 相談予約をWebで受け付けることで、開庁時間外でも予約が可能になり、利用者の利便性が向上しました。また、予約時に相談内容に応じた専門性を有する相談員の選択も可能になりました。 (2) オンライン相談の開始 利用者の都合に合わせて、オンラインでの相談も選択可能になり、利用者の利便性が向上しました。			
令和9年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題 令和8年度の取組状況 Web予約、相談員の選択、オンライン相談の3機能が利用可能となり、利便性が大きく向上したことから、相談予約・実施件数も着実に推移し、相談機会の裾野拡大に成果が表れています。 一方で、利用者の相談ニーズや利用環境は多様であることから、オンライン相談対応に係る環境整備と体制強化が必要です。 令和8年度は、令和7年度に引き続き、経営相談を実施するとともに、利用者が希望する相談方法を円滑に選択できるよう環境整備と相談員の対応力向上を進めます。 令和9年度は、利用状況やニーズを踏まえ、必要な機能改修を計画的に実施します。			
所管課	地域振興部 商工観光課 (産業企画担当課長)		決算参考書	200頁 R7予算の概要 133頁

44 地方との連携支援【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方向性

区内の魅力ある資源を効果的に発信するとともに、地方との連携を進める必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画)

事業概要	内容	都市と地方は、人材はもとより、食料品や電気や水などのライフラインに係る資源について、深く関わり合いながら活動しています。区は、共生の理念に基づき地方と共に発展していくため、平成30年に「千代田区における地方との連携のあり方」を策定しました。
		令和7年度は、中央区との共催で、地方都市を応援するスタンプラリーを実施します。スタンプラリーでは、謎解きゲームを楽しみながら、区内の各アンテナショップを巡ることができます。 同時に、有楽町駅前広場で連携自治体等によるマルシェを開催し、より多くの区民等が地方の魅力に触れられる機会を創出し、地方と都市の連携を図ります。

事業費	予算現額	決算額	執行率
	20,109,000円	17,065,059円	84.9%

事業実績	○令和7年度実績					
	(1) 千代田区×中央区アンテナショップスタンプラリー2025の実施					
	中央区及び株式会社東京交通会館と連携し、令和7年9月26日～10月23日の期間で各種イベントを開催しました。					
	①スタンプラリー：参加者数5,486名 ②謎解きラリー：参加者数783名 ③スイーツ人気投票：参加者数120名 ④物産展（令和7年9月27日 有楽町駅前広場）：延べ来場者数115,662名					
	(2) ちよだ地方連携ネットワーク事業の実施					
	①地域体験ツアー（区内在住親子対象）					
	西伊豆町：参加者8組16名、五城目町：参加者4組8名					
	②食セミナー（6回）					
	テーマ	おやき（親子）	がんづき（親子）	くりきんとん（親子）	味噌仕込み（多世代）	しおかつお（大人）
	参加人数	7組14名	3組6名	6組12名	56名	16名

実績を踏まえた評価・課題 令和9年度予算への対応	他区や事業者とも連携し大規模なイベントを開催したことで、効果的に地方への関心を喚起することができましたが、生まれた関心を実際の訪問や交流など次の行動につなげることが必要です。
	令和9年度は、令和8年度に引き続き、物産展や地域体験ツアーにより地方との連携強化につながる機会を提供するとともに、連携自治体の意向や特色を活かした連携を推進します。

所管課 地域振興部 商工観光課	決算参考書	200頁	R7予算の概要	133頁
-----------------	-------	------	---------	------

45 産業コミュニティ形成支援事業【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方向性

企業の持続的な成長によって地域を活性化する必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画)

事業概要	内容 区は、区内における新産業・スタートアップ振興の一環として、令和5年12月に、産業コミュニティ「千代田CULTURE×TECH」を立ち上げ、参加企業間でのコミュニティ形成をオフライン・オンラインの両面から支援する取組みを推進しています。 令和7年度は、コミュニティ内の企業を対象に、専門家による助言・指導や、企業とのマッチング支援を行うプログラムを実施し、創業や資金調達につなげ、スタートアップ企業の成長を促します。 また、オープンイノベーション※を活用し、区内各地域における重点産業が抱えている課題に対して、スタートアップなど先進的な技術等の提供や協業提案を区内外の企業等から幅広く募集し、課題を解決するプログラムを2年間の時限で実施します。 ※オープンイノベーション：企業などが内部の資源だけでなく、外部の知見や資源を活用しイノベーションを促進する手法				
事業費	予算現額	決算額	執行率		
	45,850,000円	45,460,000円	99.1%		
事業実績	○令和7年度実績 (1) 産業コミュニティ形成に係る各種イベントの実施 ①アクセラレータープログラム※（採択者：8名、計5日実施） ②ビジネスコンテスト（応募：16社、登壇：7社、参加者数：56名） ※アクセラレータープログラム：区内スタートアップ企業に対して事業の検討機会やノウハウなどを提供し、短期間での事業成長や協業を促進する支援プログラム (2) デジタルツール（Slack）を活用したコミュニケーションインフラの運用 (3) 情報発信（Webサイトの作成、SNS運用など） (4) 「SusHi Tech Tokyo 2025」への出展 ビジネスコンテスト受賞企業2社と共同出展し、事業周知や事業者の販路拡大を支援しました。 (5) オープンイノベーションを活用した区内事業者の課題解決支援 ①課題を持つ区内中小企業の募集（応募：6件、採択：4件） ②課題解決に関する伴走及び成果報告会の実施（登壇：7社、参加者数：43名）				
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度取組状況 令和9年度予算への対応	今後は「千代田CULTURE×TECH」内での支援を充実させながら、コミュニティに所属する区内中小企業の成長に資する取組みを実施し、地域課題の解決とまちのにぎわい創出へつなげていくことが必要です。 令和8年度は、既存の取組みの継続に加え、区内2か所に交流拠点を設置し、地域特性を生かしたイベントの実施、相談窓口・交流機会の提供等を行うことでコミュニティの活性化をめざします。また、新たに地域課題解決をめざした共創プログラムを実施します。 令和9年度は、令和8年度の取組みを踏まえながら、社会実装を支援する伴走型プログラムの実施を検討し、区内産業の持続的発展、まちのにぎわい創出につなげていきます。				
所管課	地域振興部 商工観光課 (産業企画担当課長)	決算参考書	200頁	R7予算の概要	134頁

46 観光協会運営補助【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方向性

区内の魅力ある資源を効果的に発信するとともに、地方との連携を進める必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画)

事業概要	内容	一般社団法人千代田区観光協会は、区の観光施策を担う中核組織として、観光プロモーションや区の魅力を磨き上げ発信する役割を果たしており、区は観光協会の取組みを側面から支援するため、運営補助等を行っています。 令和7年度は、大河ドラマ「べらぼう」に登場する浮世絵、古本、出版等の千代田区の歴史文化を資源として活用します。書店街等ゆかりの地域や出版関連企業と連携し、区内回遊施策や独自商品の造成等を実施します。			
事業費	予算現額	決算額		執行率	
	217,232,000円	178,559,090円		82.2%	
事業実績	○令和7年度実績 (1) 観光資源磨き上げ創出事業 ①NHK大河ドラマ「べらぼう」と共同でパンフレットの作成(30,000部) ②パネル展の開催(令和7年8月25日～31日 区民ホール 来場者数1,071名) ③シティマガジン千代田細見の作成(特集神保町6,000部、特集秋葉原6,000部、特集未来5,000部) (2) 観光イベント ①灯ろう流しの実施(令和7年7月30日、31日 ボート乗船数122艘 観覧者数約7,300名) ②写真コンテストの実施(令和7年6月23日～12月25日 応募約3,310点) (3) 観光情報発信事業 ①観光ガイドブック(10,000部)及び歴史さんぽMAP(4種計20,000部)の作成 ②外国人向け情報の発信(外国人向けWeb媒体への投稿4回、Facebook4回、Instagram4回)				
実績を踏まえた令和8年度予算への対応	機を捉えたプロモーションの実施や、外国語対応人員の増員等、より多くの方が千代田区を訪れることができるよう環境整備を行ったものの、さらなるインバウンドの増加をはじめとした観光を取り巻く状況変化へ対応していくことが必要です。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、区ならではの観光資源の魅力を高めつつ、新たな観光資源を発掘・創出し、区の魅力発信や地域のにぎわいの活性化に取り組みます。				
所管課 地域振興部 商工観光課		決算参考書	200頁	R7予算の概要	134頁

47 総合窓口の運営【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）

将来像に向けた方向性

区民の窓口手続き等に係る負担を軽減し、利便性を高めることが必要である。

事業概要	内容	大切なご家族が亡くなられた際の行政手続きは、多岐にわたっているため、ご遺族に大きな負担が生じます。 令和7年度は、事前予約制でご遺族の手続き支援を行う専用窓口「おくやみコーナー」を設置します。ご遺族の状況に応じて必要な手続きをあらかじめ確認したうえで関係各課と連携し、手続きの際に移動することなくワンストップで案内・受付をすることで、ご遺族の負担を軽減します。						
事業費	予算現額		決算額		執行率			
	214,279,000円		201,359,428円		94.0%			
事業実績	○令和7年度実績 (1)「おくやみコーナー」の開始 令和7年8月から、ご遺族の手続きに係る負担軽減及び利便性の向上を目的に、事前予約制によりご遺族の手続き支援を行う専用窓口を設置しました。委託事業者に対して遺族ケアに関する研修を受講させるなど、適切な対応体制の確保に努めるとともに、関係各課と連携のうえ、ご遺族の状況に応じて必要な手続きをあらかじめ確認し、来庁時にはワンストップでの案内・受付を実施しました。 (2)事業実績 運営開始にあたっては、連合町会長会議において周知を行うとともに、広報紙や区ホームページを通じて広く制度の周知を図りました。							
	<table><tr><td>相談件数</td><td>利用実績</td></tr><tr><td>106件</td><td>20件</td></tr></table>					相談件数	利用実績	106件
相談件数	利用実績							
106件	20件							
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度予算への対応 令和9年度予算への対応	おくやみコーナーの設置により、関係各課の手続きを一体的に案内・処理することが可能となったことで、ご遺族の負担を軽減し手続きの円滑化に寄与しました。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、関係各課との連携を密にし、適切な対応体制の確保に努めつつ、円滑な窓口対応を継続していきます。							
所管課 地域振興部 総合窓口課		決算参考書	204頁	R7予算の概要	137頁			

48 文化芸術プランの改定【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方向性

歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。
(関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）)

事業概要	内容	区は、文化芸術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、文化芸術基本条例に基づき、千代田区文化芸術プラン（第四次）を令和3年度に策定しました。 現在のプランは令和7年度で終了するため、第四次プランを評価し、課題整理を行うとともに、区の地域特性や社会情勢の変化などを踏まえ、文化芸術プランを改定します。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	5,365,000円	4,472,500円		83.4%
事業実績	○令和7年度実績 千代田区文化芸術プラン推進委員会では、現行計画の成果の振り返りを行ったほか、計画期間中に東京都が策定した東京文化戦略2030など国や都の動向を踏まえた今後の区の対応について検討し、パブリックコメントを経て、令和8年3月に千代田区文化芸術プラン（第5次）を策定しました。 （1）千代田区文化芸術プラン推進委員会の開催等 ①4回開催（令和7年5月27日、7月31日、9月19日、10月31日） ②関係各課事業調査（令和7年8月） （2）パブリックコメントの実施 令和8年1月5日～26日の期間で実施（意見者数：4名、意見：10件）			
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度の取組状況 令和9年度予算への対応	本事業は、プランを策定したため、令和7年度で完了しました。 今後は、策定したプランに基づき、千代田区に住む人、働く人、学ぶ人、買い物や観光などでまちを訪れるすべての人々が文化芸術に親しむことができることをめざし、文化芸術事業を推進していきます。			

所管課 地域振興部 文化振興課	決算参考書	206頁	R7予算の概要	131頁
-----------------	-------	------	---------	------

49 ちよだアーツスクエア改修整備【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方向性

歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。
(関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）)

事業概要	内容	ちよだアーツスクエア（旧練成中学校）は、築後46年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、令和6年度は大規模改修工事に向けた施設の基本・実施設計を行いました。 令和7年度は、令和9年度の供用開始に向けて、改修工事に着手します。 区民等が文化芸術に親しみをもち、気軽に利用できる施設となるよう整備を進めていきます。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 工事費	924,000,000円	844,200,000円	91.4%
	(2) 工事監理委託料	22,285,000円	8,819,000円	39.6%
	(3) 事務費	3,855,000円	2,729,985円	70.8%
事業実績	○令和7年度実績 施設内の備品の整理を行ったのち、令和8年1月に近隣説明会を実施し、令和8年2月から改修工事に着手しました。 ※工事監理委託料については、機械設備工事の入札不調により、工事監理委託業務の開始が遅れたため、執行率が低くなりました。			
令和9年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	改修にあたっては、施設利用者・周辺地域等に十分配慮しながら工事を進めていくことが必要です。 令和8年度は、令和7年度に引き続き、令和9年度の竣工をめざして改修工事を実施するとともに、再開に向けた準備を進めます。			

所管課 地域振興部 文化振興課	決算参考書 206頁	R7予算の概要 132頁
-----------------	------------	--------------

50 (仮称)新九段生涯学習館基本構想の策定【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっていきます。

将来像に向けた方向性

区民が生涯学習・スポーツを主体的に行う機会を提供することが必要である。
(関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン(第四次))

事業概要	内容	九段生涯学習館は、生涯学習の振興を図るため、自主的かつ継続的な学習活動をしている区民のグループ、サークル等の団体が行う学習・研究・実習等の場であるとともに、文化芸術を通じた交流と、区民による創造・発信の拠点となっています。現施設は、「九段南一丁目地区第一種市街地再開発事業」のエリア内に所在しています。 令和7年度は、令和6年度に実施した整備計画の検討結果や再開発事業の進捗状況を踏まえ、年齢や障害の有無に関わらず、全ての区民が自由に活動できる生涯学習・文化芸術活動の拠点をめざし、基本構想を策定します。			
事業費	予算現額		決算額		執行率
	15,440,000円		14,023,000円		90.8%
事業実績	○令和7年度実績 (1) (仮称)新九段生涯学習館基本構想検討会の開催(令和7年7月14日、8月14日、9月10日、11月5日、令和8年3月9日) 学識経験者や団体関係者で構成する検討会を設置し、令和6年度に実施した現施設に係る現況調査や施設利用者等への意見聴取を踏まえ、(仮称)新九段生涯学習館のめざす姿、基本方針、導入機能等について検討しました。 (2) (仮称)新九段生涯学習館基本構想の策定 検討会の内容を踏まえ、令和8年1月5日～19日にパブリックコメント(意見者数：2名、意見：4件)を実施し、(仮称)新九段生涯学習館における基本理念、整備スケジュール等を示す基本構想を策定しました。				
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度予算への対応 令和9年度予算への対応	(仮称)新九段生涯学習館の整備にあたっては、再開発事業の進捗を踏まえつつ、子どもや障害者、高齢者等、全ての区民が自由に活動できる生涯学習・文化芸術活動の拠点をめざし、検討を進めていく必要があります。 令和8年度は、(仮称)新九段生涯学習館基本計画検討会を設置し、学識経験者や団体関係者等の意見を踏まえ、(仮称)新九段生涯学習館基本計画を策定します。 令和9年度は、基本構想に示したスケジュールを踏まえ、基本計画に基づき施設整備に向けた検討を進めます。				
所管課	地域振興部 生涯学習・スポーツ課 (施設整備担当課長)	決算参考書	206頁	R7予算の概要	128頁

51 新スポーツセンター基本計画の策定【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっていきます。

将来像に向けた方向性

区民が生涯学習・スポーツを主体的に行う機会を提供することが必要である。
(関連する主な分野別計画：千代田区スポーツ振興基本計画)

事業概要	内容 区は、老朽化した現在のスポーツセンターについて、多様化する利用ニーズや社会環境の変化に対応した、誰もが利用しやすい新たな施設として整備するため、令和6年度に基本構想を策定しました。 令和7年度は、基本構想の内容を踏まえ、年齢や障害の有無に関わらず、千代田区に住み、働き、学ぶ全ての人々が、交流を図りながらスポーツを楽しみ、生涯を通じた健康づくりに取り組めるスポーツ施設として整備するため、基本計画を策定します。				
事業費	予算現額	決算額	執行率		
	23,151,000円	22,800,000円	98.5%		
事業実績	○令和7年度実績 (1) 近隣公共施設との合同整備に向けた検討 合同整備により、都区が所有する敷地を一体的に活用することで、効果的な施設整備が可能となり、区民サービス向上の実現が期待されること等から、都区合同での施設整備について検討を行いました。 (2) 新スポーツセンター基本計画検討会の開催（令和7年9月12日、10月27日、12月1日、令和8年1月26日、3月9日） 学識経験者や団体関係者で構成する検討会を開催し、令和6年度に策定した基本構想を踏まえ、新スポーツセンターの諸室計画、建物構成等について検討しました。 (3) 新スポーツセンター基本計画の策定 東京都との協議や検討会の内容を踏まえて基本計画（素案）をまとめ、令和8年3月5日～19日にパブリックコメント（意見者数：17名、意見：43件）を実施し、基本計画を策定しました。				
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度予算への対応 令和9年度予算への対応	隣接する東京都千代田合同庁舎との合同整備に向けて検討を進めるとともに、東京都と協議を引き続き行う必要があります。 令和8年度は、基本計画に示す施設計画に基づき、基本設計に着手します。 令和9年度は、採用する事業方式に基づいて、施設整備に向けた検討を進めます。				
所管課	地域振興部 生涯学習・スポーツ課 (施設整備担当課長)	決算参考書	208頁	R7予算の概要	128頁

52 スポーツ振興基本計画の改定

第4次基本構想のめざすべき姿等

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっていきます。

将来像に向けた方向性

区民が生涯学習・スポーツを主体的に行う機会を提供することが必要である。
(関連する主な分野別計画：千代田区スポーツ振興基本計画)

事業概要	内容	区は、令和3年度にスポーツ振興の実現により到達すべき千代田区の未来像として、「楽々いえスポ 元気にまちスポ いいね🍀スポーツちよだ」を基本理念とする「千代田区スポーツ振興基本計画」を策定しました。 令和7年度は、令和6年度に実施したニーズ調査やスポーツを取り巻く社会情勢の変化、政策動向を踏まえ、年齢や障害の有無に関わらず、千代田区に住み、働き、学ぶ全ての人が、スポーツに親しむための環境を整備するために、計画を改定します。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	7,261,000円		6,954,066円	95.8%
事業実績	○令和7年度実績 学識経験者、有識者、区民、関係団体等で構成される千代田区スポーツ振興基本計画策定委員会及び庁内検討会において協議を行い、令和8年3月に計画を改定しました。 (1) 検討会議の開催 ①千代田区スポーツ振興基本計画策定委員会（令和7年6月23日、9月8日、11月17日、令和8年2月16日） ②庁内検討会（令和7年11月5日） (2) パブリックコメントの実施 令和8年1月5日～19日の期間で実施（意見者数：4名、意見：4件）			
実績を踏まえた評価・課題 令和9年度予算への対応	本事業は、計画を改定したため、令和7年度で完了しました。 今後は、改定した計画に基づき、庁内の生涯学習・スポーツ、教育、福祉、まちづくり等の分野間の一層の連携を図るとともに、関係機関等と連携しながら、スポーツ習慣の定着と誰もが安全にスポーツを楽しめる環境整備を進めます。			

所管課 地域振興部 生涯学習・スポーツ課	決算参考書	208頁 R7予算の概要	129頁
----------------------	-------	--------------	------

53 日比谷図書文化館整備の検討【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。			
将来像に向けた方向性			
歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。 (関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）)			
事業概要	内容	日比谷図書文化館は、昭和32年に都立日比谷図書館として竣工し、平成21年に区に移管されました。築後68年、全面改修からは14年が経過しており、建物や設備の老朽化が進んでいます。 令和7年度は、施設の整備を見据え、現在の施設の課題・用途・規模、建物として必要な機能等を調査・整理し、施設整備のための検討を行います。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	5,500,000円	3,806,000円	69.2%
事業実績	○令和7年度実績 日比谷図書文化館の整備に向け、現施設の課題整理や利用実態、他自治体における図書館のリニューアル事例の調査を実施しました。あわせて、改築または大規模改修の必要性や整備の方向性等について検討するとともに、整備にあたっての課題等について東京都と協議を行いました。		
令和9年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	日比谷図書文化館の整備にあたっては、施設の老朽化や機能面の課題、利用者ニーズの変化、文化財の保存環境、特色ある形態・意匠、コスト等の様々な観点を考慮し、整備の方向性を検討していく必要があります。 令和8年度は、利用者等アンケート調査の実施や新たに立ち上げる基本構想検討会における意見聴取等を通じて、（仮称）新日比谷図書文化館の基本構想の策定を行います。 令和9年度は、基本構想を基に、基本計画の策定を進めます。		
所管課 地域振興部 文化振興課		決算参考書	210頁 R7予算の概要 133頁